

## 所報 研究所だより

## 教育・しまんと

令和2年度  
NO. 5

発行 四万十市教育研究所

四万十市田野川乙 1240 番地  
Tel/Fax (0880) 32-1020  
ふれあい学級(0880) 32-1022

## ★充実した二学期に…

例年より遅かった梅雨明け、明けると途端に猛暑。コロナ禍の影響も受けて、子ども達や先生方は、いつもとは異なる夏休みを過ごしたことと思います。

そんな中、新型コロナウイルスは、一向に終息が見通せない状況にあります。

さらに、異常気象といえるような豪雨による災害、また、今季前半の発生が少なかつただけに、今後予想される台風等、自然災害の脅威も気になるところです。

昨年度末から立ち込めている重苦しい状況に対して、大人も子どもも身を守ることを今一度真剣に考えるとともに、「命を守り、安心・安全な生活を送る」ため、冷静かつ迅速に判断し行動できる力を常日頃から意識し、実践できるようにしたいものです。

さて、市内の小中学校は、8月28日をもって、すべての学校で二学期がスタートしています。運動会は早いところでは5日に、そして予定通りいけば27日には最後の学校が終えることとなります。

各学校では、時数確保に向けて、各種行事の精選や行事そのものにかかる時間数の削減等に創意工夫されていることと思います。

何かと厳しい状況が続いていくことが想定されますが、四万十市の子ども達が、様々なジャンルで力を伸ばし、活躍できる二学期になることを願います。

夏季休業中に開催された「学校図書館担当者の教職員の皆様」、「標準学力調査の分析にご協力いただいた研究所主事の先生方及び中学校の教科担当(国語・数学・英語)の先生方」、「サークルⅡの研修会に参加され、現場で役立つ実践を学ばれた先生方」等々、積極的にご

参加いただきありがとうございました。

四万十市教育研究会、会員の皆様に心よりお礼を申し上げます。

## ★標準学力調査結果について

5月末に実施された「標準学力調査」の分析結果を、8月19日(水)午前で開催された校長・教頭・主幹教諭の合同研修会の場で有田研究員から説明をさせていただきました。

数値結果と成果・課題について報告させていただきます。

## 【 表中の赤字は全国を上回っているもの 】

## 【 国語：学年別平均正答率 】

	小3	小4	小5	中1	中2
全 国	70.8	64.6	69.4	64.4	72.2
四万十市	70.7	<b>67.1</b>	<b>74.6</b>	<b>65.9</b>	<b>79.3</b>

## 【 算数・数学：学年別平均正答率 】

	小3	小4	小5	中1	中2
全 国	73.3	74.2	66.5	68.6	59.8
四万十市	<b>74.8</b>	<b>75.1</b>	<b>68.8</b>	66.6	<b>60.8</b>

## 【 英語：学年別平均正答率 】

	中2	中3
全 国	62.3	59.0
四万十市	<b>66.0</b>	56.4

## 【 中1 社会・理科：学年別平均正答率 】

	社会	理科
全 国	57.4	61.8
四万十市	53.4	57.8

## 【 成果と課題 】

◆国語科においては、小中共に「書くこと」に強みが見られ、課題としては、小では「聞くこと、読むこと」中では「読むこと」があげられます。

また、配当漢字の定着については、全体的に改善傾向が見られました。

- ◆算数科では、3年と4年は全国平均並、5年では、6問の活用問題全てで全国値を上回り、そのうち5問で+5P以上でした。

共通する課題としては、

- ①文章やメモなどを読む力
- ②必要な情報を見つける力
- ③必要な情報を複合的に考え、正答を導く力(小4)、文章で説明する力(小5)
- ④日常生活との関連等があげられます。

- ◆数学では、中1は全国平均を下回り、活用問題に課題が見られます。中2では、逆に活用に強みが見られましたが、基礎問題の定着に不十分さがうかがえます。

- ◆中2の英語では、リスニング問題、3文以上の英作文の問題で全国平均以上でしたが、言語・文化についての知識・理解に関する問題に課題が見られました。

- ◆中3の英語では、外国語表現の能力、言語・文化についての知識・理解にかかわる問題に課題が見られました。

上記のような分析結果を踏まえて、それぞれに「2学期以降の改善策」を示させていただきました。

### 【小学校国語】

- 「話すこと・聞くこと」では、1・2年生の力が身につけていないところを補いながら、3・4年の学習を進めていく。重要な語句は何かを判断しながら聞いたり、聞いた後に内容を振り返ったりすることが大切である。
- 「読むこと」では、「説明的な文章」と「文学的な文章」の読みの違いを把握し、その単元やその時間に身につけさせたい力を授業者が明確に持つ。

### 【中学校国語】

- 学校全体で正しく丁寧に漢字を書かせ、色々な場面で漢字を使わせる取り組みをする。
- 文章の構成や内容を理解させるよう、思考力判断力、表現力の育成と知識・技能のバランスのとれた授業づくりをしていく。
- 系統性を意識して、既習事項を活用した授業づくりをしていく。

### 【小学校算数】

- 問題提示の際、日常生活と関連のある問題を取り上げ、児童が意欲的に取り組める工夫をする。
- 問題文の中から必要な条件を読み取り、問われていることを明確にしながらい習事項を活用して解決していく力を育成する。
- 思考の過程をノートに書いたり、条件に合わせてまとめたりしながら、自分の考えや友達の考えが説明できるような授業を構成する。

### 【中学校数学】

- 帯タイムや宿題、授業で技能を確実に習得できるように工夫する。
- 日常事象の中から課題を設定する。
- 数量関係の読み取り強化のために、線分図、面積図、アレイ図等を活用する。
- 表現力を育成するために、自分の考えと他者の意見を比較し、改善する時間を確保する。

### 【中学校英語】

- 基礎・基本的な学習事項定着のために、語彙・語順・品詞等を授業で徹底、確認する。
- 生徒が英語で質問されるのではなく、質問する活動を行う。
- 課題の見える問題を普段の評価問題にも採用し、指導する。
- 英語の正確さを求める丁寧な指導と、表現力を伸ばす指導のバランスを図る。

- ★詳細については、8月19日の研修会の資料をご覧ください。今後の授業改善及び12月実施予定の「県版学力調査」や、来年度の「全国学力・学習状況調査」等に生かしていただきたいと思っております。